

八商日誌を全国出版

ジャグラ作品展で最高賞

60回卒 筈見 時男 滋賀県大津市



かつて八商では、学生全員が毛筆で日誌を書く伝統が生きていた。筆書きにもやっと慣れてきた頃、私はこれに漫画の挿絵を入れることを思いついた。定期的な提出日には、担任の先生から丁寧な講評と励ましの言葉が返ってきて、ますます乗ってきた。

振り返れば、我々の在校時期は中国～太平洋戦争の真只中、戦時色は日一日と深まり、他校とも競い合って実戦さながらの軍事演習に火花を散ら



▲表紙

した。出征兵士の農家へは稲刈り応援に出勤するなど、国民全体が戦争を勝ちぬくために助け合い励まし合って、国難に立ち向かったのだった。

漫画でリアルに表現された日々の記録は一見して人を70年前の心情に引き戻す一ところで先般、還暦を迎えた甥がこの日誌を見て「こんな厳しい時代があったことを殆ど知らなかった」と言う。彼には4人の子供もいる。一サアこれには驚いた。「ヨシ何としてもこの日誌を出版するぞ。ぜひとも若い世代に読んでもらいたい」—おろかな戦争は決して繰り返してはならない。その



▲県下連合演習

▲出征農家応援

為にも、あの戦中戦後の血の出るような体験を決して風化させてはならないのだ。

幸い探し当てた「サンライズ出版」が熱心に取り組んでくれ、あらゆるノウハウを注ぎ込んで、予想以上の出来栄になった。



▲遠泳(岡山→長命寺)

出版業界のすぐれた作品を審査する「日本グラフィックサービス工業会」(ジャグラ)の作品展において、最高賞である『経済産業大臣賞』が贈られたことは、八商マークを表紙に印した著者として、誇らしいの一語に尽きる。

<近江尚商会の各位におかれまして、夫々の八商時代を回顧する一助として手にとっていただけるなら、之に過ぎる喜びは有りません>

大津市在住の筈見時男氏(60回卒)が、戦時下の八商在学中に綴られていた日誌のうち、唯一手許に残されていた最終の一冊を「昭和17年、戦時学生の日誌」として出版され、目下、各地で好評発売中です。今回の出版にあたって文字は活字にせず、今の若い世代には読みづらい旧かな遣いなど、最小限の修正がなされています。全ページにご本人が描かれたイラストからも当時の状況がよくわかり、日誌の随所に天八魂の強さとやさしさが溢れていて、師弟関係の細やかさにも心を打たれます。八商時代を再認識する意味からも是非、読者も増やします。購入ご希望の方は、右記までお問い合わせ下さい。

「昭和17年、戦時学生の日誌」
(定価2,400円+消費税 送料無料)

【お問合せ】サンライズ出版
滋賀県彦根市 / TEL 0749-22-0627